

スポーツ

川越

発行 川越市体育協会



第3回川越ウォークソン大会より

法人化に向けて

— その実用と信用 —

組織委員長 竹内康雄

日本人は活字に弱いと言われる。活字になったものを見せられると、直ちに信用してしまふ。新聞に掲げていることは、全て真実だと考えがちだが、「新聞で本当に間違っていないと言いつけることは、日付と曜日だけだ」と言った人がいる。

社長と大学教授には国家試験はない。いいかえれば、誰れでもなりうるが、これらの肩書きを突き付けられると、多くの人はそれだけで信用してしまふ。

社団法人や財団法人のいわゆる公益法人が、社会的な信用を得るだけのために誕生すると言つては極論すぎるだろうが、信用と言う力が発揮する効用は限りなく大きい。いかに実績と実力のある団体でも、それが単に任意の民間人の集りである限り世間はなかなか認めようとしなないし、信用もつかない。

公益法人は法的な規制や厳しい手続きを経ていると言ふ理由だけでなく、〇〇法人と言ふ四文字による重みは別な意味があるように思える。

川越市体育協会はいま公益法人化を考えている。四十年にわたりとする過去の諸先輩による実績と、現在の力と将来に果さねばならない使命を考えれば、時宜を得ていると言えないのではないだろうか。決して格好をつけるためにやるのではない。信用を得るためでもない。勿論それらも考慮のうちにはないとは言えないが、法人化することによって、体協自体の内部充実を図ることができないのではないかと考える。

これを機に内面から活性化され、加盟スポーツ団体の自覚に変化も起るであろう。周囲の見る目が変わってくれば、自ずとそれに対応する心構えができてくる。信用もあとからついてくる。折から中学校と併用だった市民体育館が真の市民体育館に生まれ変わるし、総合運動公園の誕生も間近い。

体協関係者の奮起と地道な努力によって、市民とともに健康都市「川越」を造りたい。

公益法人は決して格好だけのもので終らせてはならない。

川越運動公園建設委員会状況

川越運動公園の建設は、市政施行六十周年記念事業の目玉として決定後、三年目を迎えて具体的に前進してきました。

建設委員会では当初の構想をふまえて、昨年十月十八・十九の両日、茨城県の日立市といわき市を視察いたしました。

日立市の市民運動公園(第三種)は、近くの笠間市に第一種陸上競技場があるため、県単位の大会を行なっているとのことでしたが、全てが完備された立派な競技場で先端技術の街にふさわしいものと感心いたしました。

二日目はいわき市自慢の第一種公認、上荒川運動公園いわき陸上競技場を視察しました。

山際の地形を有効に利用して作られたこの施設は、昭和四十五年竣工にもかかわらず、メインスタンド五千人、バックスタンド一万一千七百人が収容できる素晴らしいものです。

周辺には補助競技場、総合体育館、野球場、サッカー、ラグビー場、相撲場、弓道場、プール、駐車場等があり、人口三十五万の地

方都市の勇断を感じました。

又、今年度にはいり、四月二十五日には県内の陸上競技場視察研修会が催され、川口市青木町の陸上競技場と、浦和市駒場の運動公園を視察いたしました。

青木町運動公園陸上競技場は、公認第二種全天候型で、当初昭和三十四年十一月に竣工され、その後大改修をして昭和五十五年四月に現在のものになったもので、陸上競技に要するものは一切完備されており、運営に必用な各部室等も整備されています。

但し千六百十二の観客席数は四十万都市としてはあまりにも少なく思われます。

周辺にはテニスコートやプールがあり、又、川口市の土地柄を表す相撲場もあります。

浦和市駒場の運動公園は昭和五十七年十月完成の、第二種公認全天候型で、各種機能が整備されています。

スタンドも広く芝生とメインスタンドで八千八百席あり、観客の要望に答えています。駐車場も広くとられ、産業道路に面している

松林の中であり、環境は最高に思われます。

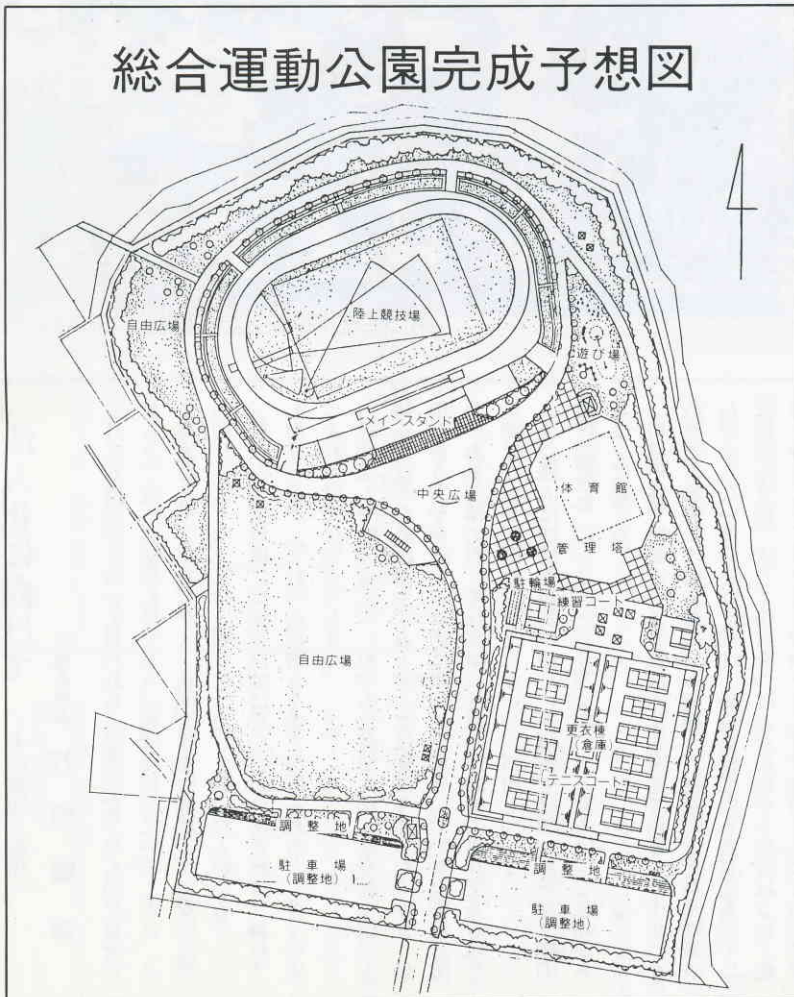
これらの視察の結果もふまえて、去る五月二十八日に今年度初めての委員会が開催されました。

この会議には設計業者のセントラルコンサルタントからも三名が出席し、基本設計に基づく陸上競技場の施設内容について各委員より活発な意見や質問がだされ、より良いものをつくるべく熱心な討議がなされました。

工程表によりますと、本年十月中に基本設計書の作成、六十一年度から六十三年度にかけて第一期

の陸上競技場の完成の予定で、総合体育館、テニスコート他、付属設備が続いて建設される予定です。用地の取得・整地、上下水道工事、とり付道路工事、本体工事と莫大な資金を要することになりませんが、将来の展望にたつて画期的な施設の一日も早い完成を願います。

総合運動公園完成予想図



昨年の婦人スポーツの集いの反省会で、婦人スポーツ団体の連絡協議会を作ったかどうかということが話し合われ、以後協議を重ね、去る七月七日の第四回婦人スポーツの集いの日にめでたく川越市婦人スポーツ団体連絡協議会が発足いたしました。

この協議会は、体協に加盟する団体の婦人部やその他の婦人団体で組織され、婦人スポーツ団体への指導や助成、また団体間の連絡、そして婦人スポーツに関する各種の行事を開催する等の目的で作られました。

二十条からなる規約も当日配布され、役員も次の通り決定いたしました。

- 会長 箕輪絹子 (バレー) ・ 副会長 小山久子 (レク) ・ 川上喜美江 (軟庭) ・ 会計 須賀郁子 (卓球) ・ 清水泰恵 (水泳) ・ 理事 牧野保代 (卓球) ・ 松崎好江 (軟庭) ・ 長堀潤子 (同) ・ 小内芳子 (バレー) ・ 柴野トシ子 (同) ・ 菊地ミツ子 (バスケット) ・ 小林泰恵 (同) ・ 有山節子 (サッカー) ・ 鎌田

婦人スポーツ団体連絡協議会発足成る!



- 好美 (同) ・ 水野浩子 (剣道) ・ 吉田美和子 (同) ・ 渡辺敏乃 (弓道) ・ 小磯富子 (同) ・ 鈴木紘子 (水泳) ・ 大橋津美子 (レク) ・ 綾部勝美 (同) ・ 横川年子 (バドミントン) ・ 水村恵子 (同) ・ 鹿倉弘子 (ソフト) ・ 岸久子 (同) ・ 矢沢瑞珠 (テニス) ・ 内川昌子 (同) ・ 加藤英子 (ボウリング) ・ 竹ノ谷元枝 (同) ・ 仲利子 (なぎなた) ・ 金子節子 (同) ・ 監事 田浦茂美 (剣道) ・ 石山美穂子 (弓道)
- 今後は婦人スポーツの集いも、この協議会が中心になって運営されて行く事と思われま。
- また、近々、川越市体育協会へも川越市婦人スポーツ団体連絡協議会として加盟が予定されています。

第四回 婦人スポーツの集い

去る七月七日(日)、川越市市民体育館において、第四回婦人スポーツの集いが、参加者五〇〇名を集めて盛大に開催されました。講演会は講師に女性登山家の田部井淳子氏を招き、「エベレストまでの道」と題して、山との出逢い、山への情熱を軽快なテンポで語っていただきました。

軽スポーツでは上尾沼南高校の野中常士郎先生の指導で、ストレッツ体操が行なわれました。

第四回川越ウォークソン大会の開催



今年も十一月三日(文化の日)に開催されます。昨年は二〇〇〇名の参加者を集めて行なわれましたが、今年はずっと参加者の増えることが予想されます。詳しくは市の広報でお知らせしますが、募集期間は九月二日(月)から九月三十日(月)までです。申し込みはお早めに!

昭和六十年度スポーツ教室が教育委員会との共催で四月から開催されている。

今年度の特徴としては、これまで市民体育館での教室開催が夜間に限られていたが、初雁中学校体育館の完成により午前午後の開催が可能になったことである。現在までに卓球教室、フォークダンス教室が開催されているが参加者も夜間開催にぐらべ大変多くなっている。

参加者の声を聞く、「主婦としては、昼間の開催は大歓迎!、毎回よい汗をかいています。」

「広い体育館でスポーツができてすばらしい。今後も数多くの種目が開催されることを希望します。」

等、市民体育館での開催について

スポーツ教室開催中

その意義を語ってくれている。今後、より幅広い年齢層を対象として教室を開催し、市民の健康体力づくりに役立っていかれらと考えている。

今後の開催予定種目

- ◎少年少女トランポリン教室 八月二十二日～三十日
- 六回 午前九時～十一時 市民体育館
- ◎太極拳教室 八月二十三日～十月十一日 毎週金曜日 八回
- 午後六時三十分～八時三十分、市民体育館、一般対象
- ◎婦人硬式テニス教室 九月二十七日～十一月二十九日 毎週金曜日 十回
- 午前九時～十一時 芳野台庭球場



体 育 祭

季 大 会

電話 0492-24-8811 内線 315・316

野 球

日 時 9月15・16・22・23日
午前8時30分

会 場 初雁球場・市民グラウンド
編 成 本庁管内は自治会単位・出張所管内は出張所単位で2チーム

申 込 8月26日(月)までに保健体育課へ

代表者会議 9月6日(金)午後6時30分市役所7A会議室

卓 球

日 時 9月15日午前8時30分

会 場 市民体育館

種 別 単式Ⅱ一般男子・30才代40才代・50才代・60才代
一般女子・家庭婦人
複式Ⅱ一般男子・女子・混合

資 格 市内在住
中・高生は3年生のみ
1人1種別。1町内1クラブ

申 込 8月22日(木)までに保健体育課へ

その他 ゼッケン(縦18cm横25cm)着用のこと。



軟式庭球

日 時 種別 10月15日(火)午前8時
30分Ⅱママさんの部A(37才未満・B(42才未満)・C(42才以上)

上) 10月20日(日)午前8時30分Ⅱ一般男子の部(35才未満)・一般

バスケットボール

日 時 種別 10月20日(日)午前8時
30分Ⅱ中学OB・OG 10月27日(日)8時30分Ⅱ一般男子、9時30分Ⅱ職域、9時Ⅱ一般女子・ママさん 11月17日(日)

代表者会議 ママさんのみ9月20日(金)午後6時30分市役所7AB会議室

バレーボール

日 時 種別 9月22日(日)午前8時30分Ⅱジュニアの部(小学4～6年) 10月6日(日)午前8時30分Ⅱママさんの部 10月13日(日)午前8時30分Ⅱ総合6人制・9人制男女

会 場 市民体育館他

申 込 ジュニアの部・各単位団へ ママさんの部・各校区責任者へ 一般の部Ⅱ 9月20日(金)までに保健体育課へ

女子の部(35才未満)・成年男子の部(35才以上)・壮年男子の部(45才以上)・ジュニアの部(小学6年以下) 下

会 場 市営コート

資 格 市内在住・在勤者(中高生は除く)

申 込 9月21日(土)までに保健体育課へ

柔 道

日 時 10月6日(日)午前9時

会 場 武道館

種 別 幼稚園・小1・小6・中1・2・中学選手権・町内

サ ッ カ ー

日 時 種別 11月4日・24日Ⅱ社
会人の部 10月10日・27日Ⅱ小学3年以下・6年以下の部

会 場 社会人の部Ⅱ下老袋サッカー場他小学生の部Ⅱ霞ヶ関東サッカー場他

資 格 協会登録チーム

申 込 協会から登録チームに連絡 代表者会議参加をもつて申込みとする。

剣 道

日 時 種別 10月10日(祝)午前9時
Ⅱ小学3～6年 11月10日(日)Ⅱ中学生・高校生・大学・一般男女・家庭婦人

会 場 武道館

資 格 連盟所属団体及び連盟会員

申 込 申込書により武道館へ



対抗戦・女子選手権・職域対抗戦・段外選手権・初段選手権・式段選手権・川越選手権

資 格 市内在住・在勤・在学者

申 込 当日武道館にて受付

弓 道

日 時 10月13日(日)午前9時30分

会 場 市民体育館

種 別 個人Ⅱ一般男女・高校男女・教室生 団体Ⅱ一般男女・高校男女・教室生

空 手

日 時 10月13日(日)午前9時30分

申 込 当日武道館にて受付

市民 第38回

夏季・秋

◎お問い合わせは市教育委員会保健体育課へ

陸上

会場 武道館
 種別 一般団体戦組手・少年の部形、組手・少年初心者基本・中学生組手・一般個人戦形

申込 水村善美
 遠藤京二へ

日時 10月20日(日)午前8時30分
 会場 市立富士見中学校
 種別 中学生Ⅱジュニア男A、

クライフル射撃

日時 9月15日(日)午前9時開始
 会場 朝霞オリピック射撃場

資格 協会会員
 申込 大会5日前までに小原銃砲店へ

日時 10月10日(祝)午前8時30分
 会場 群馬ジャイアント射撃場
 種別 トランプ・スキート(各A 20才、35才まで・B 45才まで・C 46才以上)

水泳

日時 9月1日(日)入場午前7時
 ・開始午前8時30分

会場 県立川越女子高校プール
 種別 小学4年以下・小学5・6年・中学・高校・20才以下・30才・39才・40才・49才・50才・59才・60才以上

種目 五〇M・一〇〇M・二〇〇MⅡ自由形・背泳・平泳・バタ・メド・リレー

申込 8月9日(金)までに保健体育課へ

種別 女A 高校生Ⅱジュニア男B、女B・一般ⅡA男女、B男女
 申込 9月20日(火)までに保健体育課へ

体操

日時 10月20日(日)午前9時
 会場 市民体育館

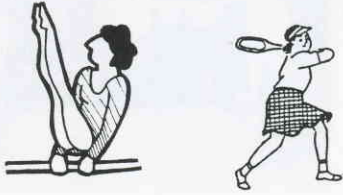
種別・種目 小学生の部(小3以上男女)Ⅱ市連規定問題(中学生の部男女(1、3年)Ⅱ県規定問題 一般男女Ⅱ自由演技

申込 郵送受付 9月25日まで
 沢田精一へ

資格 協会会員
 申込 8月24日(土)までに協合理事へ

種別 エアーライフルS 40・P 60・3P 60・JS 40・LS 40
 ハンドライフル40
 エアーピストル40
 スモールボアライフルP 60・3P 60

種別 エアーライフルS 40・P 60・3P 60・JS 40・LS 40
 ハンドライフル40
 エアーピストル40
 スモールボアライフルP 60・3P 60



少林寺拳法

日時 10月27日(日)午後1時
 会場 月越小体育館

種別 一般、大学生、高中生Ⅱ有段者・段外 団体演武

資格 協会加盟者
 申込 各支部事務局へ

日時・種別 9月1日(日)～10月6日

バドミントン

日時 9月16日(振)午前8時30分
 会場 市民体育館

種別 ダブルスのみⅡ一般男子A B・一般女子A B・ママさん・壮年(40才以上)

資格 市内在住在勤者(学生は除く)

申込 8月23日(金)までに保健体育課、又は川商高の小川司まで

日時 9月29日(日)午前9時
 会場 市民体育館

種別 民踊・フォークダンス・インディアカ(一チーム4名編成)・ウォークラリー

申込 民踊・フォークダンスⅡ当日受付 その他Ⅱ9月21日(土)までにハカギで保健体育課へ

ソフトボール

日時 10月27日(日)午前10時開始
 会場 川越ファミリレーン

種別 予選第一・第二・決勝Ⅱ10代20代30代40代50代60才以上

申込 10月8日(木)までに保健体育課へ

硬式庭球

日時・種別 10月5日(土)一般男子複(子選) 10月6日(日)一般女子複 10月12日(土)一般男子複(決勝) 10月13日(日)壮年男子複(昭16年4月1日以前出生)・ジュニア単(小4、中3) 10月19日(土)壮年男子単(昭16年4月1日以前出生)・一般女子複(予備) 10月20日(日)混合複 各種別とも午前9時開始

会場 芳野台テニスコート

申込 9月5日(木)までに保健体育課へ

日時 10月20日(日)午前10時開始
 会場 入間大橋運動公園

編成 壮年男子の部Ⅱ自治会単位 45才以上男子の部Ⅱ各小学校区で1チーム

申込 各小学校区の理事へ

日時 10月20日(日)午前10時開始
 会場 入間大橋運動公園

編成 壮年男子の部Ⅱ自治会単位 45才以上男子の部Ⅱ各小学校区で1チーム

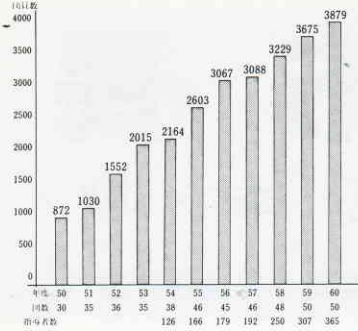
申込 各小学校区の理事へ

スポーツ少年団結成十周年

東京オリンピックを日本スポーツ元年とし、オリンピックを契機にスポーツのもつすばらしさを国民に知ってもらい市民スポーツの普及をはかろうと、古橋広之進・笹原正三・小野 喬・李代哲雄氏等の努力により日本体育協会に提案がなされ、スポーツ少年団が発足した。しかし行政指導中心に統々と少年団が誕生したものの「旗あげ少年団」と悪口いわれ、結成されては消える団が多く実質的活動には弱かった。

わが川越市の場合、何回か体協理事会で検討した結果、時期早

昭和六十年五月現在



尚の判断で他市町村の様子を研究することで結成に至らなかった。この研究期間をもうけたことは当時の体協幹部のまことに賢明な判断であったと思われる。

昭和四十七年頃より、スポーツ教室から発展したサッカークラブが自主的に単位団を結成しだしたのを機会に、昭和五十年五月、市立仙波小学校々庭において発会式がおこなわれた。

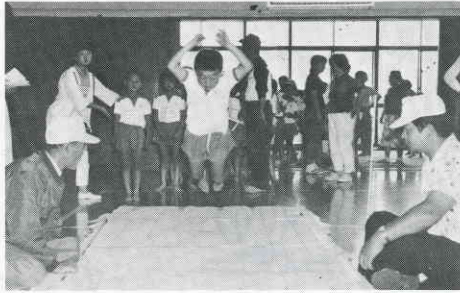
このような姿でスタートできたことはその後の川越市市民スポーツに大きな影響を与えるとともに全国的にも特色ある少年団であるとの評価をいただいている。

次に川越市スポーツ少年団の特徴的なことをいくつかあげてみると次のような考察ができる。

第一に、団員数が多いこと。本年度登録五十団(三、八七九名)県下で浦和市に続いて第二位の団員数である。また、団員が小学四年以上であるので四人に一人は団員であることを考えるとその影響は大きいものがある。

第二に、指導者数が多いこと。日本スポーツ少年団の認定している指導者は三六五名であるが、

未登録者を含めると一〇〇人以上にもなる。また、体力テスト判定員やCコース終了者等の資格取得者も多い。また、他市町村の場合には体協役員・体育指導委員・教員等がスポ少指導者を兼務する場面が多く、地域との結びつきが問題となっている。川越市の場合各単位団の指導者が地域を母体としたものであり、地域に根ざした少年



60. 5. 体力テスト会

団活動が展開されている。今後は、これらの各指導者がいかに連携をはかっていくかが課題となろう。

第三に、市民スポーツとしての少年団として発展したこと。

ほとんどの市町村が、募集方法を学校にお願いしたり、学校のクラブ活動と同一であったりして学校依存になりがちであるが、川越市の場合、家庭を使わせていた

だいてはいるが、学校依存の少ないことである。

第四に、本部事業が充実している。元旦マラソン・体力テスト会・体育祭・指導者養成講習会・単位団とのブロック懇談会等の本部事業がこれだけ組まれている市町村は少ないであろう。特に体力テスト会はテスト事前実技研修会を開き、当日、合格証・メダルの授与までしたり、結果の分析考察をし指導者研修会まで実施できている市町村は、全国にほとんどないことであろう。

第五に、これだけ充実しているスポーツ少年団に市助成金が五十五万円と少ないこともまためずらしい。

このように、他市町村に誇れるスポーツ少年団として年々充実して来られたのも、昭和五十年の約四〇〇名でスタートした時点から十年後の今日約四〇〇〇名に増加するまでの過程において多くの理解者と協力者のおかげと感謝いたします。

今後、あるべき姿として、指導内容については、スポーツ技術中心の試合にこだわらず、オールラウンドの体力づくりと、交流を通しての仲間づくり、いろいろな行事を体験させることであろう。そして地域の教育力の向上に努め、明るい街づくりを努力することである。

スポーツ講演会

昭和六十年三月二十六日(火)

市役所に東京学芸大学教授、波多野義郎先生を招き、「新しい健康づくりのすすめ」についてご講演をいただきました。

私達が日常の生活の中において健康づくりをすすめるうえで大きな示唆を与えていただきました。

以下、心に残った「コレステロール」の内容について紹介いたします。・血液中のコレステロール値を望ましい範囲内に収めるためには、運動と栄養の両面から考える必要があること。・職場のイライラなど、精神的なストレスが高まるとコレステロール値が上がる傾向にあること。更には、コレステロールには、善玉と悪玉のコレステロールがあり……。等、有益な内容をたくさん聞くことができました。先生の話を理論として受けとめるだけでなく、毎日の生活の中に生かして、理論と実践の一元化を目指して日々努力していきたい。そして、自動車に乗るところを歩いたり、……。ごくあたり前のことをあたり前に長く続け、毎日の生活の中に動くことを意図的に取り入れ、豊かな社会生活を送りたいと思います。

ボウリング連盟

一度消えかかった火が再び燃え上ったように見えるボウリングですが、実はスポーツとしてのボウリングは根強よく続いておりまして現在日体協に加盟している県が埼玉を含めて44県、それぞれの県では京都で行なわれる国体に合せてしのぎをけずっております。

埼玉県では県体協に加盟している市町村が11で選手の数は350名、他県の選手に負けじと頑張っております。最盛期の頃からみれば100分の一の数ではありませんが、選手層の面からみれば殆んど変りないものと自負しております。わが川越市も体協の皆様の御理解によりようやく加盟を認められ今後の活躍が期待されるまでになりましたが、現在会員70名、一丸となって頑張っております。

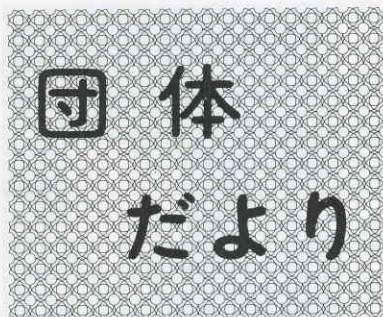
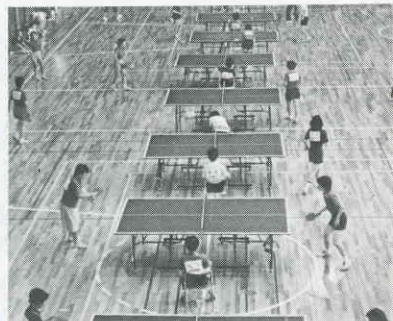


ボウリングは非常にメンタルなスポーツなのですが、今から15年位前にボウリングを単なる遊びと考えた経営者に依って簡単にストライクの出るいわゆるハイスコアレーンというのが作られました。その頃は押すな押すな盛況でしたが、練習の要らない競技はグラウンドを必要としない例えのとおり衰退の途をたどっています。現在は当時の5分の一に減った競技場ですが、スポーツ意識は非常に高まってきています。

我々は練習がすべての競技とこころえて心技とも立派な選手を作り上げるべく努力しております。今後共、乞う御期待!!

卓球連盟

念願であった家庭婦人部を、印藤連盟会長はじめ役員の方々の御理解と御支援により、昨年四月一日、「川越市卓球連盟」の中に創設できました。創設にあたり、他市の家庭婦人部役員の方々に、大変有意義な御意見や御助言を頂戴し、参考にさせていただきます。初年度から部員数は、二百三十名にもなり嬉



しい悲鳴を上げています。今後も増え続けるでしょう。

今年の二月に、創設後初めての講習会を開催しました。講師は、東京卓球連盟副理事長河合英一先生、助手は、学生時代に数多くの大会で輝かしい戦績を残された石田久美さんに依頼しました。当日は、大変な寒さでしたが、二十代から七十代迄の百三十名が参加して、市民体育館は熱気にあふれま

した。初めてラケットを持った方も終わる頃には、サーブを出しラリーも続くようになり、楽しく和やかなうちに無事終了しました。その後、毎月第三木曜日か金曜日の午前中を練習会にして、五十人前後の部員が集まって上級者がコーチをして、前半は基礎・後半は自由練習にしています。

総会で、「河合先生の講師で、再度講習会を」との声が多数あり、七月五日に再度開催いたしました。今後とも、技術の向上と部の発展に努め、他市との交流を深めたいと願っております。

空手協会

「空手を習っています」と答えると、「瓦、何枚割れますか?」「有段者は警察に登録するんですよ。今でもこんな認識で空手道を観ている人の数は決して多くない。また最近では映画、テレビ等の影響を受け、空手ブームと云われているが、又、一方で、間違った認識に一層の拍車を掛けている。

この様な社会背景が存在する中で、当協会も葛藤を繰り返しながら、諸先輩のご尽力、会員相互の協力により、創立以来約三十年間に渡り着実な発展を遂げて来た。特に最近の十年間は、一般を始

め、小学・中学・高校生を含め、空手人口は急増しつつあり、全国大会、地区大会へと毎年の様に選手を派遣するに至り技術的な向上もまた見逃し難い。また、今後の大きなテーマは、国体選手を我が川越市から送り出すことであり、意気込みも新たに日々、汗を流している。そして先人が築き上げた武道「空手道」の教えを遵守、継承し、武道精神を貫きながら、スポーツとしての空手道を通じ、自らを鍛え、会員相互の親睦、地域における、空手道の普及、拡大、発展を目標に掲げ、地道な活動を行っていくため組織の充実、創意結果をも図っている。

今後共、体育協会のご支援を仰ぎながら、「スポーツ川越」の一端を担いつつ、微力ながら全面的な協力体制の心構えで、着実に一歩一歩前進して行きたいと思つ。





全国一斉ウォークラリー

見る、知る、歩く、わたしのまち
全国一斉ウォークラリー大会
川越でも開催

五月十九日(日)に全国一斉ウォークラリー大会(川越会場)

(主催 日本レクリエーション協会、埼玉県レクリエーション協会、川越市レクリエーション協会、後援、文部省、日本体育協会、朝日新聞社NHK)を開催いたしました。

全国一二六会場、四万五千名が全国一斉に午前一〇時にスタートして、春の青空の下ウォークラリーを楽しんだことと思います。

埼玉県では、浦和・秩父・川越の三会場で開催され、川越会場では、五才の幼児から八十二才のおじいちゃんまでの、八十五組約三五〇名が市民体育館前をスタートして盛大に開催することができました。

ウォークラリーとは?
「聞きなれないことばと思いますか」

コース図(分岐点が記載されたもの)にしたがい、チェックポイントの問題を解きながら、一定時間内にグループで歩き、規定時間の得点と課題の得点で競う野外ゲームです。

今回のコースは、ふるさと再発見PARTIII・小江戸川越歴史探訪コース約6kmで行いました。チェックポイントの問題では、「時の鐘」の高さはこの大仏と同じ高さ?、太田道灌の公像があります、手に持っている川越の市の花は何んですか? というような問題が14問と観察ゾーンの問題(ゴール直前にでる)4問が出され、参加者は歩きながら、川越のまちを再発見したと思います。

なお、主管いたしました、川越市レクリエーション・リーダーズクラブでは、ウォークラリーの大会を毎年実施して、輪を大きく広げていきたいと考えています。開催希望の地域等ありましたら、左記に御一報下さい。

会長 岡野



賀詞交換会

昭和六十年一月十二日(土)、川越市体育協会主催による、恒例の賀詞交換会が、川越福祉センター大ホールにおいて、盛大に開催されました。

今年度は、バレーボール連盟と卓球連盟が、ホスト団体となり、市長、教育長をはじめ、参加者二百五十名以上になる盛大な、交換



会となりました。

体育協会では、アマチュアスポーツのリーダーとして、時代の要望に対応できる、組織と指導者の育成をと、年頭にあたり新たな決意がなされました。

役員一部改選

体育協会では、補欠による役員改選がありました。新役員を御紹介いたします。

体育協会副会長

有山 末子(小体連会長)

加盟団体理事

大室 光雄(中体連)

須賀 重晴(ボーリング)

学識経験理事

岡 安道 夫(教育次長)

小 山 隆(中体連会長)

上 加 忠 雄(高体連会長)

祝 昭和五十九年度県・市功労賞

昭和五十九年度埼玉県体育功労賞、及び川越市体育功労賞の表彰がありました。授賞者の方々を御紹介いたします。

県体育功労賞

森田 栄 川越市水泳協会会長

市体育功労賞

須賀 郁子 卓球 連盟

小久保 進 バスケット連盟

受賞された皆様には、今後とも体育・スポーツの振興と育成発展に御指導をいただき、ますますの御活躍を御期待申し上げます。

市民体育館利用についてお知らせ!

今年4月から市民体育館を個人でも利用できるよう開放しております。ご活用ください。

◎開放日：毎週水曜日午前8時30分～正午・午後1時～5時

他の曜日でも、団体利用のない日は可。

◎種目：原則として卓球・バドミントン・インディアカなど。

◎利用料金：2時間単位で、児童生徒は50円、学生一般は100円。

※体育館改修工事のため11月から来年3月までは閉館の予定

編集後記

いろいろと試行錯誤を繰り返しながらも、何とか第七号の発行にこぎつけました。

まだまだ不十分な内容で、皆様に喜んでもらえるものには程遠いものと思いますが、これからも皆様のご協力を得て、より良いものにしていきたいと存じますので、今後ともよろしくご協力の程、お願いいたします。

末筆になりましたが、投稿いただきました皆様方には心よりお礼申し上げます。

広報委員会